



児童数 25人

所在地 江刺米里字荒田表 85-1 ☎ 2061

人首小学校は、今年創立145周年を迎えました。

人首は、本市の北東部に位置し、かつては沿岸部と内陸部を結ぶ要衝の地であり、先端の文物が導入され、繁栄を誇っていました。史跡、街並みにその面影が今も残されています。

童話作家の宮沢賢治も当地を2度訪れ、「人首町」という詩を残しています。また昭和29年に、当時童話作家として活躍していた小川未明の直筆による詩碑が建立されています。その詩「いかなる烈風も 若木を折る力なし 伸びれ子供等よ」は、本校の校訓のように語り継がれてきています。

本年度は、①「心のこもったあいさつ」、②「学校での読書と家庭読書」、③「地域から愛される学校」をスローガンにさまざまな取り組みをしています。地域とのつながりも強く、総合的な学習や生活科などでは、ゲストティーチャーとして、多くの方々に来校いただいたり、児童が訪ねたりするなど、地域に支えられながら教育活動が進められています。

10月20日に行われた創立145周年記念学習発表会では、オープニングセレモニーとして5・6年生による「兄和田念仏剣舞」の演技から始まり、地域の同窓生有志の皆さんによる「人首尋常高等小学校校歌」の合唱も披露していただき、地域の皆さんと共に作り上げた学習発表会となりました。



5・6年生による兄和田念仏剣舞

一人一人が輝いた運動会

5月26日、晴天のもと、大運動会が行われました。その中でも、全校児童と保護者が一緒になって行った大玉ころがしは、笑顔があふれ、走る人も応援する人もみんな一緒になって白熱しました。



マラソントイム

中休みは、全校で200メートルトラックを学年の違う友達と競って走っています。全校マラソントイムが終わっても、先輩に負けじと黙々と走っている児童もいます。その成果もあり、市内陸上記録会では、女子80メートルハードルでの1位をはじめとして、多数入賞することができました。



学校通信

大学生との交流会

8月22日、埼玉大学有機農業研究会の学生・先生方と本校児童との交流会を行いました。昨年8月に本校ボランティアであり宮沢賢治研究家の佐伯研二さんの案内で、埼玉大学の本城昇名誉教授と一緒に同大学学生8人が本校を訪れたことが始まりです。

交流会では、学生の皆さんが宮沢賢治作品「人首町」の朗読、原体剣舞、紙芝居「のぼら」（小川未明作）などの発表をしてくれました。大学生の心のこもった発表を見た後は、一緒になって「お米ありがとう音頭」を踊ったり、たてわりグループに分かれて「昔遊び」で楽しんだりしながら楽しいひとときを過ごしました。

約2時間の楽しい交流会は、あっという間に過ぎ、感謝の握手で終わりとなりました。子どもたちにとっては、もっともっと一緒に遊びたかったという気持ちが強かったに違いありません。



平成最後の夏の思い出ができました